

## 第298回 日本体育大学長距離競技会

### 【出場結果】

実施日 : 9月17日(土) 10000m 9月18日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗 関口 大樹 田中 龍誠 坪井 響己

出場種目・出場者・リザルト

氏名	坪井	関口	田中	親崎	坪井
種目	10000m	5000m	5000m	5000m	5000m
組	5組目	7組目	9組目	10組目	11組目
タイム	29'35"45 (入社後ベスト)	15'21"06	14'51"44	14'47"06	14'29"16
順位	9/29	30/33	13/32	18/32	9/36

### 【レポート】

いよいよ9月も中盤に入り、11月3日に開催される東日本実業団駅伝競走大会まで、1ヶ月半となり、夏場の走り込みから本番のレースに対応できる様にスピードを磨く時期となりました。

秋のシーズン初戦のレースとして、9月17~18日に開催された日本体育大学長距離競技会に4名の選手が出場して参りました。

初日に行われた10000mには坪井が出場し、気温27度、湿度65%の蒸し暑さが残る気候の中で、記録を狙うには難しい条件の中でスタートしました。



蒸し暑さの中、スタートから先頭集団に食らいつく坪井

出場したのが最終組ということもあり、外国人選手が序盤から 1 km 2 分 50 秒のハイペースを刻む中、2000m 迄は坪井を含む日本人選手もペースに付いていきましたが、以後は日本人選手で形成された第 2 集団でレースを進め、5000m を 14 分 36 秒台で通過すると、後半も集団の中で粘り切り、シーズンベストとなる 29 分 35 秒台でのゴールとなりました。

北海道マラソンから 3 週間足らずのレースで、蒸し暑さの条件も加味すると価値のある結果となり、駅伝本番にむけて弾みをつける結果となりました。



集団を積極的に引っ張る坪井



見事シーズンベストをマークした坪井

翌日は 5000m が行われましたが、台風 14 号の影響もあり、時折強い雨風が吹き付けるコンディションとなりました。

7 組目に出場した関口は、1 km を 3 分で刻む集団の後方でレースを進めましたが、3000m 過ぎで動きが鈍りだすと、大幅にペースを落とし、15 分 21 秒台でのゴールとなりました。

駅伝前の走りとしては課題が浮き彫りとなる走りになりましたが、次戦での巻き返しに期待したいと思います。



中盤以降の走りに課題を残した関口

9組目に出場した田中は、序盤から先頭集団が刻む1 km 2分55秒のペースに付いていきましたが、2000m過ぎから順位を落とすと中盤以降は単独走となり、終盤は粘りを見せたものの、14分51秒台でのゴールとなりました。練習では自己記録を狙える走りが出てきているので、関口と同様に次戦での巻き返しに期待したいところです。



序盤は攻めた走りを見せた田中

10組目に出場した親崎は、8月に体調を崩し復帰過程でのレースでしたが、積極的に先頭集団に付いていき、そのレースに臨む姿には親崎の気持ちの強さを感じました。

途中、転倒した選手との接触によりバランスを崩してからはリズムが乱れ集団から離れてしまいましたが、14分47秒台でゴールし、復帰レースとしてはまずまずの結果を残してくれました。



体調不良からの復帰段階でも、しっかりと結果を出す親崎

11組目に出場した坪井は、前日の10000mに続いてのレースとなり、疲労も残る中でしたが、序盤から集団の後方で落ち着いた走りでレースを進め、中盤以降は先頭集団に加わり、しっかりとペースアップして14分29秒台でのゴールとなりました。

2日続けて自分の力を出し切れているので、次戦は自己記録更新も視野に入れレースに臨んで欲しいと感じます。



2日続けてのレースでも疲れも見せず、攻めた走りを見せる坪井

今回は秋のシーズン初戦ということもあり、課題をクリア出来た選手と、課題の残った選手で明暗が分かれました。今回課題が残った選手は、原因をしっかりと見極めて次のレースでは課題を克服して欲しいと思います。

駅伝本番まで残り1ヶ月半。今回出場しなかった選手を含め駅伝本番にしっかりとピーキングを合わせ、選手1人1人が自身の体調と向き合い、日々のトレーニングを重ねて参ります。

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。